



# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2868回 例会  
プログラム  
救急救助のすべて  
No.2698 4月3日(木)

次週以降の予定  
4月10日(木) 次年度活動計画・新委員会  
4月19日(土) 第二グループ都市連合会(IM)  
4月24日(木) これからの滝川市観光振興

## 第2867回 例会報告

2014年 3月27日(木)

### 会長挨拶・報告



皆さんこんにちは。本日も例会にご出席頂きありがとうございます。

今日は3月の例会では最後の例会日であります。この時期は年度末で何かとあわただしい会員も多くおられると思いますが、例会でしばしおつるぎいただければ幸いです。昨日3ヶ月ぶりに札幌に行きましたが、市街地の雪も殆んどなく車の渋滞も相当あり滝川とはやはり違うなと感じて帰って来ました。

4月より消費税の増税の他、私ども医療・介護に携わる者にとっては2年振りの診療報酬改定、また増税に伴う介護報酬改定もあります。また4月は新年度よりの入社の新入社員などの指南、指導などもあり何かと気を遣う時期でもあります。

本日の例会は会報委員会担当の例会で、鈴木副市長をお招きして「再生可能エネルギーの取組みについて」とのテーマで後程講話をいただきますが、よろしくお願い致します。

### 幹事報告



①. 芦別・留萌RCより4月例会プログラムが届いております。  
②. たきかわ音楽祭「風がみつけた街」コンサートチケット販売依頼がまいりました。日程等は、掲示板でお知らせしております。各テーブルに廻しますので、お名前・枚数をご記入の上、ご協力をお願いします。  
③. 来週4月3日(木)は、第16回定例理事会を開催致します。尚、5月・6月担当例会をお持ちの各委員長さんは、事業実施計画書の提出を4月1日(火)までをお願いします。

## 先週のプログラム

■会報委員会担当例会■

ーゲスト卓話ー



会報委員会 石黒 安雅 委員長

本日の例会は、会報委員担当例会であります。鈴木光一滝川市副市長をお招き致し、滝川市の再生可能エネルギーの取組みについて、パワーポイントを使用しながら解りやすく、ご講話を頂きたいと存じます。

さて3年前、東日本大震災後、原子力発電が全てシャットダウン(停止)しており、現況に於いては大方、化石燃料に頼っております。これは、地球温暖化の加速に繋がります。そこで、全世界的にも再生可能エネルギーの必要性がとりざたされており、我が国としても最近、進展があるようでございます。又、我が滝川市として鈴木副市長を中心にこの問題を真剣に取り組んでおります。その一旦をお話しいただきましたら幸いです。

ここで、鈴木光一副市長をご紹介致します。昭和24年10月1日生まれの64歳。東京都出身、最終学歴は昭和48年早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業、昭和48年~平成11年迄、三井物産株式会社勤務。その後、大手民間会社に勤務され、平成15年4月、公募による民間人校長として三重県立宇治山田商業高校校長を平成20年9月迄勤務され、進学推進に力を注ぎ、今まで国公立大学進学者ゼロから12名を進学させた実績の持ち主でもあります。平成24年4月、ご承知の通り公募によって滝川市副市長に就任されました。それでは、鈴木副市長宜しくお願い致します。

### ー再生可能エネルギーの取組みー



滝川市 副市長 鈴木 光一 様

私達が取り組んでおります再生可能エネルギーについてお話をする機会をいただき、ありがとうございます。今日話をしたい事が3つあります。

1番目は、昨年より稼働しております

見晴団地内に完成したメガソーラーについてであります。2番目は、風力発電についてです。3番目は、未来に夢を馳せるバイオマスについてです。

太陽光発電滝川市第一号のメガソーラーは、見晴団地ほほえみ工房となり立地致しております。当初は、こんな雪深い所で大丈夫かと心配されました、しかし私が副市長に就任する前に、北海道新聞に三井物産が道東の網走市に1.5メガのメガソーラーを取り組むことを見て、滝川市にも持ってこれるのではないかと思ったのが始まりであります。副市長に就任後、早速古巣の三井物産を訪れて、見晴団地のソーラーについて相談致しましたが、積雪や降雪の件でコストが非常に高くついて収支バランスが悪いということでありました。滝川では無理だと言われましたが、その中で何を克服すれば良いかと考えました。太陽光メガソーラーを完成するには、1つに安価で広い土地が必要、1つに十分な日照時間があるか、もう1つに北電との接続が出来るか、という事が必要条件である事が判りました。調べて行きましたら、この3つの条件がしっかりクリアされました。後は、雪の問題が残りました。新潟県を参考にして、パネルの角度やパネルを乗せる架台(土台)の高さ等を研究した結果、予算に合ったほほえみソーラーパークが完成する事が出来た訳であります。

○伯東滝川ほほえみソーラーパークの架台



○伯東滝川ほほえみソーラーパークの設置例



又、滝川市での2号機が中島町に、3号機が中央工業団地内に施設、4号機は流通団地内に出来ます。これらの発電量を

合計しますと、5450kwで5.5メガであります。滝川市の1,650世帯分の電力になります。

### ■風力発電について

現在、丸加山をターゲットにして調査しております。北海道では丸加山のような場合、内陸立地の風力発電は初めてであります。この計画が予定通り進行すれば、約20メガの風力発電が出来る訳であります。発電量は風力の方が約2倍有りますので、4,000kw/hで11,000世帯分の電力になります。又、完成すれば観光客を結構呼べる事になります。

○どうして滝川で風力発電なのか



■次にバイオマス発電についてですが、主にバイオマスは森から出る間伐材や牛や豚のふん尿からメタンガスを採取して、バイオマス発電をしていますが、滝川にはその資源がありませんので、今考えているのが藻類バイオマス発電であります。現在、筑波大学と協同で研究致しております。ご静聴ありがとうございます。

## ニコニコBOX

中垣 陽一 会員

本日の講話をいただいた鈴木副市長に感謝して。

松原 章 会員

木曜フォーラムで短い講話をさせていただいて。

石黒 安雅 会員

担当例会を終えて。

会長／中垣 陽一  
幹事／鈴木 英光  
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30  
例会場●ホテルスエヒロ  
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16  
TEL(0125)22-3344  
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。